

## 竹ヶ鼻城について

応仁年間（1467～9）の頃、美濃國の大半を領していた土岐氏の家臣、竹腰伊豆守尚隆が現在の**上城・下城**両町からその裏にかけて築城したと言われているが、確証は得られていない。

最後の城主は、文祿年間織田信雄の家臣、杉浦五左衛門が城主となった。慶長5年の有名な関ヶ原の戦いにおいて杉浦城主が西軍に投じたため、同年8月22日ついに徳川勢福嶋左衛門正則の率いる大軍に攻略せられるところとなり、居城に火を放ち、残存の郎党共に戦死した。

◇分野

中部地方：東山・東海地方 215、日本 291、伝説・民話[昔話] 388、日本の建築 521、日本文学 910

### 竹ヶ鼻城について

タイトル・著者・出版者・出版年	場所	請求記号	資料番号
『 <b>名城名鑑 上</b> 』 大類伸／著 人物往来社 1965 *竹ノ鼻城 P.196～P.197	郷土	A521	010532042
『 <b>図説・美濃の城</b> 』 林春樹／責任編集 郷土出版社 1992 *竹鼻城 P.166	郷土	A521	010486645 ほか

### さらに詳しく知りたい

『 <b>竹ヶ鼻城 全</b> 』 武藤重造／著 武藤重造 1933	郷土	A215	010571024 ほか
『 <b>羽島市史 第1巻</b> 』 羽島市史編纂委員会／編集 羽島市役所 1964 *竹ヶ鼻城と歴代城主 P.442～485、竹ヶ鼻城の水攻め P.431～437、慶長5年の竹ヶ鼻戦 P.437～442	開架 郷土	A215	010432029 ほか
『 <b>羽島市史 史料編 上巻</b> 』 羽島市史編纂委員会／編集 羽島市役所 1967 *竹ヶ鼻城ノ水攻二関係アル古文書 P.373～389、竹鼻守城録叙 P.390、竹鼻守城録 P.390～394	開架 郷土	A215	010788065 ほか

『濃飛両国通史 下』 岐阜県教育会／編集 1923 *竹ヶ鼻攻略（下）P.6～7、竹ヶ鼻陥落（下）P.35～36	郷土	A215	010590396
『竹鼻の歴史 図説』 竹鼻町史編集委員会／編集 竹鼻町史刊行委員会 1999 *竹ヶ鼻城の城主 P.26～27、竹ヶ鼻城の水攻め P.28～29、竹ヶ鼻城の炎上 P.30～31	開架 郷土	A215	011145422 ほか
『羽島・南濃の歴史 図説』 田中育次ほか／著 郷土出版社 1988 *竹鼻城の水攻め P.58～59、関ヶ原の前哨戦 P.62～63、竹腰山城守正信 P.68	郷土	A215	010423291 ほか
『竹鼻城と三七松』 青山松任／著 青山松任 1993	保管庫	A388	011133030
『太閤山と竹鼻城の水攻め』 飯田清藤／著 福寿町間島自治会 1993	郷土	A215	011110996 ほか
『竹鼻・福寿散歩』 高橋弘／著 羽島市立竹鼻中学校 1998	開架 郷土	A291	011139409 ほか
『郷土探訪（羽島市の文学散歩）』 羽島市教育委員会／編集 羽島市教育委員会 1983	郷土	A910	011060357 ほか

### 竹ヶ鼻城の位置について

『竹ヶ鼻城の位置と調査の概要』 飯田清藤／著 大同印刷 1993	郷土	A215	010995512 ほか
-------------------------------------	----	------	-----------------

※詳しいことは、カウンターでお尋ねください。